

「ひと」のチカラを育むまち ～輝く人づくり～

8 いつまでも学び、活躍できるまちづくり

1 10年後に目指したい将来像

子どもから高齢者、障害のある方、外国人など全ての市民が学ぶ楽しさを享受するとともに、学習成果を地域や社会で活かす機会が創出されています。高齢者は、今までに培ってきた知識や技能を發揮し、健康でいきいきと生涯現役で生きがいのある生活を過ごせています。また、市民一人ひとりが自分に適したスポーツや運動を日常的に行い、心身ともに健康に暮らしています。スポーツが持つ多面的な可能性を活かして、夢と元気があふれるまちになっています。

2 10年後に避けたい三田の状況

A ライフステージに応じた学びやその成果をいかす機会がなく、市民の活力がそがれています。また市民の学びの成果がまちづくりにいかされていません。

B 仕事や趣味、生きがいをもつ高齢者が減少し、地域の活力の衰退が懸念されます。

C 生涯学習施設の老朽化が進み、市民の学びを支える機能が失われています。

D スポーツ施設が老朽化し、競技に支障がでるなど需要が満たせません。運動意欲を喚起できず利用者が減少し、スポーツ実施者も減少しています。

E 国際的なスポーツイベントが開催されたにもかかわらず、市民のスポーツ・運動への機運が低迷し、まちの活力が失われています。

F スポーツ習慣のない高齢者や障害者が増えることで、要介護者の増加や孤立化・関係の希薄化が進んでいます。

3 10年後に目指したい三田の状況

ライフステージに応じた学びの機会が自己の成長や仲間づくりにつながっています。また成果がまちづくりにいかされ、活力のあふれたまちになっています。

高齢者が今までに培ってきた知識や技能を發揮し、健康でいきいきとしながら、就労や地域活動を行い、生きがいのある生活ができています。

生涯学習施設が適切に管理、運営され、市民の感性を刺激し、学習意欲を高める施設となっています。

スポーツ施設が整い、プロスポーツや全国レベルの大会も開かれ、スポーツの意欲が喚起され競技レベルも向上しています。またスポーツ実施者も増加しています。

多くの市民がスポーツを通じて交流することで活力があふれ、親しみやすいまちになっています。それがまちの魅力となり発信されています。

共生社会実現への取り組みが進み、誰もが日頃からスポーツに親しみ、人と交流できる環境が整い健康寿命の向上につながっています。

取り組み

①

②

③

④

⑤

⑥

5 成果指標

新規・継続	取り組み	指標名	単位	指標の目指す方向性	累計・単年度	基準値(基準年)	目標値(R8)	指標の算出方法・算出根拠
新	③	図書館に年間1回以上来館した人の数	人	↑	単年度	625,777 (R1)	700,000	当該年度に図書館に来館した人の数(図書館年報)
新	④	市民が参加できるスポーツイベント件数	件	↑	単年度	152 (R1)	180	市及び三田市体育協会種目協会主催事業
継続	⑤	週1回以上運動・スポーツをしている人の割合	%	↑	単年度	43.9 (R2)	50	市民意識調査

4 取り組み

市民

- ◆市民センターなどを活用しながら主体的に学び、創造する意欲をもって学習や創作活動に取り組みます。
- ◆学びの成果を地域活動やボランティア活動に生かし、地域の活性化に努めます。
- ◆スポーツ・運動の必要性や有用性を理解します。
- ◆スポーツクラブマネジメントや指導に必要な知識・技能を身につけスポーツをささえます。
- ◆スポーツするのが好きな人は積極的にスポーツをします。苦手意識のある人は日常の中で運動になりそうな活動を見つけて、意識的に取り組みます。

行政

① 学びの機会の提供

生涯を通じての学びは、行政だけでなく高等教育機関との連携によるリカレント教育の拡充などにより、子どもから学生、シニアまでの多世代に学びの機会を提供します。また地域人材や教育機関、企業などとの連携により実施しているこうみん未来塾のように、市民の活躍の場を創出し、市民力を生かせる仕組みづくりを進めます。

② シニアが地域で活躍できる学びの場の提供と就業支援

生涯学習を通じて仲間づくりや地域貢献につながるような機会を提供します。シルバー人材センターやハローワーク等との連携を推進し、情報提供やセミナーによる就労支援を行うなど、高齢者の多様なニーズに対応する情報収集と発信、相談や活動支援を行い、生きがいづくりや社会参加につながる支援を行います。

③ 生涯学習施設の運営・活用

生涯学習の拠点機能をもつ図書館をはじめ、各生涯学習施設の特色を活かし、市民ニーズや地域課題の変化に応じた多様な学習機会を提供します。また「人づくり、地域づくり、まちづくり」の拠点施設として市民センターの活性化を図ります。

④ スポーツ・運動を「する」「みる」「ささえる」機会の提供

多様なニーズに応えたスポーツ活動推進のため、城山球場や駒ヶ谷体育館などのスポーツ施設を整備・活用します。プロスポーツや全国大会等を誘致しスポーツ観戦の機会提供やスポーツ「夢」プロジェクトを強化し子どもたちと選手との交流を進めます。またスポーツ・運動をささえる指導者やボランティアの育成を支援します。

⑤ スポーツ・運動の普及啓発

スポーツ・運動に関する情報を市広報・SNS等で継続的に提供し、興味や関心を持った人が生涯にわたって実践できるよう働きかけます。またノルディック・ウォーキングなどでスポーツ・運動習慣の定着を推進し、さんだ里山スマートシティ構想と連動して三田の魅力をいかして健康でいきいきとしたまちづくりに取り組みます。

⑥ 学びやスポーツを通じた共生まちづくりの推進

年齢や障害の有無などに関わらず誰もが一緒に参加できる学びやスポーツ活動を通じ共生まちづくりを進めます。障害者スポーツの普及を進めるとともに、健常者の理解を深め、認知度を向上させます。また、高齢者や外国人も参加しやすい講座やイベントを行い、学びやスポーツに親しむ機会を提供します。

事業者・団体等

- ◆市民の学びや創作・表現活動に資する人材やプログラム、場、情報の提供に努めます。
- ◆従業員が地域活動を担う一員として学習に取り組むことができるよう支援します。
- ◆スポーツ環境や機会の充実に関心を持ち、行政などと連携し積極的に地域のスポーツに関わります。
- ◆地域社会の一員として企業のノウハウを活かしながら事業活動を通じて、スポーツ・運動の日常化をささえます。
- ◆スポーツ団体は、教室や競技大会の開催により指導者・選手を育成することでスポーツをささえます。

◆主要な条例・規則◆

三田市生涯学習審議会条例、三田市立図書館条例、三田市スポーツ推進審議会条例

◆関連計画◆

三田市教育振興基本計画、三田市スポーツ推進基本計画、三田市高齢者保健福祉計画